



四国中央紙フォーラム2024

参加費無料
事前登録要

四国中央市の産業を象徴するイベントである「紙まつり」も、はや46回を数えるまでとなりました。これも偏に市民の皆様並びに関係者の方々のご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

将来の更なる発展を目指し「四国中央市の紙産業を考える会」等で今後の方向性を検討した結果、2012年度より企業の祭典（四国中央紙フォーラム）・市民の祭典（四国中央紙まつり）・学生の祭典（書道パフォーマンス甲子園）を3本柱とし、「紙國の祭典」として取り組むこととなりました。

本年度もその一環として、紙関連産業の企業従事者等を対象にその見識を高めることを目的に『四国中央紙フォーラム2024』を開催いたしますので、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

開催要領

日時：令和6年8月22日（木）13時30分～15時50分

会場：しこちゅーホール(四国中央市市民文化ホール) 小ホール～かるた～
四国中央市妻鳥町 1830-1 TEL：0896-59-4510

内容：裏面参照

定員：200名程度（先着順・事前登録が必要です）

※ 登録完了後、参加証をお送りいたしますので、当日ご持参下さい。

参加費：無料

主催：四国中央紙フォーラム2024 実行委員会（以下の10団体で組織しています）

四国中央商工会議所・伊予紙商組合・伊予水引金封協同組合・公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会
川之江紙商組合・株式会社紙業会館・公益社団法人法皇青年会議所・愛媛大学紙産業イノベーションセンター
愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター・四国中央市
(順不同)

<申込方法&締切>

裏面申込書に必要事項をご記入の上、FAX・郵送又はメールにてお申込下さい。

令和6年8月8日（木）必着

※申込み多数の場合は、締切前でもお断りする場合がございますので悪しからずご了承下さい。

<申込・問合せ先>

四国中央紙フォーラム2024 実行委員会

事務局：愛媛県紙パルプ工業会

（担当：森川・石川）

〒799-0101 四国中央市川之江町 4084-1

TEL：0896-58-2055

FAX：0896-58-6240

E-mail：info@e-kami.or.jp

開会挨拶

13:30~13:40 (10)

講演①『四国中央市の紙産業と水』

13:40~14:10 (30)

四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所長 青木 研 氏

水不足で悩まされてきた宇摩地域が、「日本一の紙のまち」になるまでには、銅山川からの分水の存在があります。柳瀬ダムで始まった分水が、新宮ダムにより完全分水になり、現在にいたるまでには、幾多の難関を乗り越えた歴史があります。

この銅山川から分水される水の量が、香川用水の量より多いことなどは、意外と知られていません。

今回は、ダム管理者側から見る銅山川からの分水の歴史と課題を、皆様にご紹介させていただき、四国中央市発足 20 周年・柳瀬ダム管理開始 70 周年の節目の年に水という資源の重要性を、改めて認識していただければと思います。

講演②『ユニ・チャームのグローバル展開とサーキュラーエコノミーへの取り組みについて』

14:10~15:40 (90)

ユニ・チャーム株式会社 代表取締役 社長執行役員 高原 豪久 氏

ユニ・チャームは、1961 年に四国中央市にて建築資材である「木毛セメント板」の製造・販売で事業を開始しました。その後、1963 年に生理用ナプキンの製造・販売をスタート。以来、数々の独創的な技術や商品を開発し、生活用品のパイオニアとして業界をリードし続けてきました。1980 年代にはペットケア事業を開始、当社の成長を支える事業へと成長しております。また国内市場の成熟化をいち早く予測し、積極的にグローバル化を進め、現在では約 80 の国と地域で事業を展開しています。2010 年代からは地球温暖化やプラスチック汚染などの環境問題が深刻化する中、使用済み紙パンツの再資源化を目指し「紙パンツから紙パンツへの水平リサイクル」である「RefF (リーフ: Recycle for the Future) プロジェクト」を開始しました。

このようなユニ・チャーム独自のグローバル展開と「RefF プロジェクト」を中心としたサーキュラーエコノミーへの取り組みについて、皆様にご紹介させていただきたく思います。

閉会挨拶

15:40~15:50 (10)

『四国中央紙フォーラム 2024』参加申込書

令和 6 年 月 日

事業所名 (団体名)	TEL/ FAX	/
	E-mail	
所在地 参加証送付先	〒	
参加者氏名		所属役職